

2018年3月8日

報道関係者 各位

大和リース株式会社  
代表取締役社長 森田俊作  
特定非営利活動法人 ボランティア・アーキテクト・ネットワーク  
代表理事 坂茂

■ 災害時の避難所でのプライバシー確保につなげる

## 避難所用簡易間仕切りシステムの備蓄・供給に関する協定締結

大和ハウスグループの大和リース株式会社(本社：大阪府中央区、社長：森田俊作)と、特定非営利活動法人ボランティア・アーキテクト・ネットワーク(以下VAN、東京都世田谷区、代表理事：坂茂)は、災害が発生した場合の避難所用簡易間仕切りシステム(以下簡易間仕切り)の供給において、備蓄(保管)、運搬に関する協定を2018年3月8日(木)に締結しました。

簡易間仕切りシステムは、国際的災害支援活動を行う建築家の坂茂が代表を務めるVANが考案したシステムです。一般的に芯材などで使用される筒状の紙(紙管)で枠組みし、その周囲を開閉可能な布で覆うことで、容易に入手可能で誰でも簡単に組み立てることが可能です。東日本大震災や熊本地震で活用され、避難所でのプライバシーを確保し、避難者の生活環境の向上につなげています。

今回の協定締結を機に約200セットを備蓄し、災害発生初動時の速やかな対応を可能とします。今後は両者で簡易間仕切りのシステム改善・改良を進めますと共に、参画いただく協力企業を拡大し供給体制の整備拡大・普及に取り組みます。

現在、VANは全国12自治体(山形県、福岡県など)と供給協定を結んでおり、大和リースはそれらの活動へも協力します。



東日本大震災時の設置の様子

■ VAN および坂茂による主な災害支援活動

- ・簡易間仕切りシステム：

東日本大震災（1,872 ユニット）、熊本地震（1,989 ユニット）、九州北部豪雨など

- ・東日本大震災：コンテナ多層仮設住宅を宮城県女川町に建設

- ・ニュージーランド地震：紙管による聖堂を建設

- ・坂茂建築設計ホームページ：<http://www.shigerubanarchitects.com>

■ 大和リースによる災害支援活動

- ・応急仮設住宅供給：阪神淡路大震災（8,790 戸）、東日本大震災（5,843 戸）、

熊本地震（692 戸）、長野県神城断層地震（白馬村）、口永良部島火山災害など

- ・大和リースホームページ：<http://www.daiwalease.co.jp>

■ 本協定による備蓄における協力企業

- ・小松精練株式会社（本社：石川県能美市、間仕切り布）

3 社協力による布の選定：防災・透過性などの布の選定、リサイクル品の活用など

■ 簡易間仕切り 設営の様子



●本件に関するお問合せ●

<大和リース株式会社 本社 広報販促室>

TEL：06-6942-8068

<特定非営利活動法人ボランティア・アーキテツ・ネットワーク>

(株式会社坂茂建築設計)

TEL：03-3324-6760